

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和6年7月16日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 40
校長 田中 成年

＜命の大切さ＞

～命のかがやき～

アサガオがきれいに花をつけています。夏の花ですが、秋の季語。夏の暑い時期に朝から花を咲かせ、昼頃にはしぼんでしまいますが、夏の暑さを和らげてくれるさわやかさがああり、少しの時間、私たちを楽しませてくれます。

学校では春から夏にかけて、1年生はアサガオ、2年生はミニトマトやキュウリ、ピーマンなどの夏野菜、3年生はヒマワリやホウセンカなど、各学年植物のお世話をします。今はカブトムシやクワガタムシが人気で、子供たちがよく捕まえて学校に連れてきています。畝刈地区も自然がたくさんあることがうかがえます。



1年生はアサガオの観察をしたり花を摘み取って色水を作ったり押し花にしたりします。アサガオにも命があります。その**命を少し分けてもらって学習**をしています。

この動植物のお世話を通して、子供たちには「**命の大切さ**」を伝え育てています。小さな生き物にも**命があり、かがやきがある**。周囲の友達にも優しく接するとともに、**自分の命も大切にする**。

子供たちには、「**すべてに思いやりをもって**」過ごしてもらいたいと願っております。